

くら会だより



NO.158 2025.7.11発行

こころのページ

エーザイが開発したアルツハイマー病治療薬「シカネマブ」が2023年12月に発売されてから1年半が経過し、国内では5月末時点で9000人に投与された。

シカネマブは脳内に貯まる異常たんぱく質「アミロイドβ」を除去して病状の進行を抑える。2週間に1回1時間程度点滴を投与する。脳浮腫などの副作用のリスクがあり、定期的にMRIで検査。国の診療指針で投与機関は原則1年半とされ、それ以降は有効性や安全性を評価し継続の判断となる。

こうした新薬に続き期待されるのは、皮下注射の登場だ。自宅で注射が可能になり、通院の負担が軽減される。エーザイが今年度中に皮下注射の承認申請を目指している。

早期治療には簡便な検査方法も重要である。検査薬メーカーの富士レビオホールディングスがアルツハイマー病の診断を補助する血液キットを開発し、今年5月に米食品医薬品局で承認された。国内でも今夏に申請される予定。

現状では高額な画像検査が行われているが、採血で済めば検査を受ける機会が広がる可能性がある。血液検査などで早期に診断し治療を開始できれば、進行を抑制できる。アルツハイマー病は将来治せる病気になればと期待したい。

(M.A)

次回定例会のご案内

♣7月「夏祭り」

日時：7月25日(金) 12:00～

場所：総合福祉センター本館4階

夏祭りでは、昼食の他スリッパ演奏も予定しています。

※別紙案内から申し込みください。

※参加費あり・飲み物を持参ください

※場合によっては、内容が変更されることがございます。変更の際は追ってご案内致します。

♣8月

定例会はお休みです

♣9月定例会

9月26日(金)施設見学を予定

高齢者介護者の集い ひまわり会からのご案内

7月30日(水) 13:30～ 介護に役立つ音楽療法 @総合福祉センター4階
音楽療法士さんをお招きし、家庭でできる音楽療法を学びます。さくら会の会員さんぜひご参加ください